

蟹江町18歳まで 医療費無料に



蟹江町は10月から、子どもの医療費無料制度の対象を18歳年度末まで拡大すると6月議会で方針を示しました。所得制限なし、一部負担なし、入院も通院も、高校生に限らず勤労青年も対象、とフル規格です。

通院無料自治体は10に

これで18歳までの医療費無料化自治体は、今年度内に実施予定をふくめ、通院は10、入院は32になります。今年度内の実施予定は豊山町(10月から)名古屋市(来年1月から)

に続くもの。実施済みは北名古屋市、東郷町、飛島村、南知多町、設楽町、東栄町、豊根村です(設楽・東栄・豊根は中学校卒業以降は償還払い)。



津島市は18歳まで無料ですが中学校卒業後は所得制限あり、犬山市、愛西市は15~18歳で一割自己負担があります。

がんばれ半田市

半田市も18歳まで対象ですが中学校からは1割の自己負担。中学生の通院費で負担があるのは半田市だけに

入院無料は+7=32に

今年度、18歳までの入院医療費無料化に踏み出すのは、瀬戸市、知立市、尾張旭市、長久手市、大口町、そして豊山町と蟹江町です。18歳までの入院無料は32自治体ですが、21自治体では中学校卒業後は償還払い。さらに改善を!



6月15日告示の南知多町議選(定数12)で内田保議員無投票再選!

東栄町で町長リコール 成立 住民投票へ



東栄町の村上孝治町長のリコール(解職請求)を求め、住民団体「東栄町をよくする会」が提出した署名について、町選挙管理委員会は16日、審査を終了し必要数を上回る953人分が有効と告示した。同会は町選管にリコールを本請求し、受理された。解職の是非を問う住民投票が17日から60日以内に実施され、過半数が賛成すれば町長は失職する。

町長は自身の進退について「今週末か遅くとも来週初めには報告の場を持つ」と報道陣に話している。

エアコン設置助成!

名古屋市は65歳以上、市民税非課税世帯に上限7万1千円まで助成。受領委任払いも可能

東海市5万4千円を上限とする予算を提案 熱中症を防ぐために活用しましょう。



結婚新生活支援も

東浦町は結婚新生活支援補助金を6月から受付開始した。今年1月1日から来年2月28日までに婚姻届けを届け出たともに39歳以下の夫婦が対象。新居取得費、引っ越し費用、賃料、敷金など最大30万円まで補助する。所得制限は国基準は400万円未満だが、世帯所得622万円未満にまで独自に上乗せし対象を広げている(国の地域少子化対策重点交付金を活用)。



大府市も同様の補助を30万円支給する。所得制限は400万円。39歳以下。条件は、夫が家事・育児講座に参加すること!

豊山町も同じく30万円まで補助する。所得制限は400万円。39歳以下。ただし奨学金返済額を所得から控除する。



西尾市の結婚新生活支援補助金も30万円。所得制限は400万円。39歳以下。ただし新築か新規物件の購入のみが対象。

